

令和4年度 三股町立三股中学校 学校評価書

4段階評価	4 期待以上(75%~100%)	3 ほぼ期待どおり(50%~74%)	2 やや期待を下回る(25%~49%)	1 改善を要する(0%~24%)
-------	------------------	--------------------	---------------------	------------------

【学校の教育目標】 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成

評価項目	評価指標	具体的数値目標と達成状況	方策・手立て	各評価(令和3年度)				各評価(令和4年度)				自己評価 総合	結果の考察・分析及び改善策等	評価員 コメント		
				教師	生徒	保護者	指標別	教師	生徒	保護者	指標別					
1	確かな学力の育成	「わかる・できる」授業の構築	生徒・保護者・職員の授業評価結果3以上	<ul style="list-style-type: none"> 「みまたんモデル」の推進 教育研究所と連携したICT教育の推進 重点支援校訪問を通じた授業力向上 	4.0	4.0	4.0	4.0	3.2	3.4	3.0	3.2	3	<p>○「わかる・できる」授業の構築については、「授業改善の4+4のチェックポイント」と「みまたん学習モデル」を念頭に、重点支援校訪問の活用による授業力向上、教育研究所との連携による1人1台端末の最適な活用に努めている。数値目標は達成しているが、教職員のベクトルを合わせることで更に成果が期待できると考え、具体的な取組について共通理解できる時間を確保する。</p> <p>○家庭学習の充実については、「本時の授業での学び→家庭学習一次時の授業での学び」を学びのスパイラルと捉え、喫緊の課題である。教科部会を充実させ、いかに、家庭での学びを深めさせるかについて研究し、各家庭と連携することで数値目標の達成が期待できると考える。</p> <p>○読書量のアップについては、県の教育振興施策の取組にも掲げていることから、ビブリオバトルや先生方からのおすすめ本の紹介など校内での取組について再検討することで、数値目標を達成できると考える。</p>	3	<p>○「わかる・できる」授業の構築は「わかった」に留まらず、「できた」までの見届けの指導を徹底して頂きたい。</p> <p>○家庭学習の充実が「家庭学習の手引き」の周知徹底及び、ICT活用による復習課題の工夫と家庭で振り返ることのできる授業ノート作成を充実させて頂きたい。</p> <p>○読書活動推進では、町の図書館と連携し「みまたん子に読ませたい図書100選」を作成し、中学1年生から3年生までの目標冊数を定め、リストアップし、キャリアパスポートのように次学年に引継いでいくなどの活動を計画してみてもどうか。</p>
		家庭学習の充実	学力・実力テストの結果地区・県平均以上	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭学習の手引き」の周知と活用 復習課題の工夫・宅習時間の確保 	2.0	3.0	2.0	2.3	2.6	3.0	2.5	2.7				
		読書活動の推進と読書量アップ	読書冊数一人年間20冊	<ul style="list-style-type: none"> 図書室からの広報活動の実施 	3.0	2.0	2.0	2.3	2.5	2.6	2.3	2.5				
2	心の教育の充実	文教のまち三股の伝統教育の推進	保護者・生徒・教員のアンケート結果3以上	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ・校門での一礼の実施 無言清掃の実施 自主的・自発的な生徒会活動の活性化 	3.0	4.0	4.0	3.7	2.7	2.7	3.4	2.9	3	<p>○文教のまち三股の伝統教育の推進については、具体的な活動を共通理解し、実践しているが、数値結果は教師と生徒が低い。実践について、ブラッシュアップしていく必要があり、定期的なPDCAサイクルの実施により数値目標を達成できると考える。</p> <p>○いじめ防止対策・不登校生徒等への対応については、町教委(適応指導教室)との連携により充実しているが、1月の不登校生を統計から見ると、1年生8名(2.5%)、2年生20名(6.7%)、3年生19名(7.3%)と手立てが急務である。ラポートづくりなどのカウンセリングスキルやコミュニケーションスキル、集団づくりや授業づくりのティーチングスキル、コーチングスキルを高めるための研修やOJTの構築により数値目標を達成したい。</p> <p>○思いやりの心の育成については、ピアサポートやスクールワイドPBSの活動により、学校全体で意識が高まっている。活動を年間行事に具体的に明記することで教師のベクトルが統一され数値結果が高まると考える。</p>		
		いじめ防止対策・不登校生徒等への対応	不登校率3.5%以下	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針の定着 月に1度のいじめアンケートの実施 教育相談アンケートと相談の充実 	/	/	/	/	/	/	/	/				
		思いやりの心の育成	保護者・生徒のアンケート結果3以上	<ul style="list-style-type: none"> 合理的な配慮を考慮した特別支援教育の充実 全教育活動を通じた道徳教育・人権教育の充実 言語環境の整備と言語活動の充実 	4.0	4.0	4.0	4.0	2.9	3.1	3.4	3.1				
3	健康安全と体力の向上	交通安全指導や安全点検の徹底	保護者・生徒・職員のアンケート結果3以上	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の安全確認・登下校指導 安全点検や授業、部活動でのケガ予防 	1.0	4.0	4.0	3.0	2.2	3.7	3.5	3.1	3	<p>○生徒・保護者の交通ルールの遵守についての意識は非常に高いが、職員の評価は低い。地域からの交通安全に関する連絡も多く、帰りの会や給食での放送、集会による指導を充実させているが、成果が見えにくい。定期的にPTAや地域団体の協力を得て、交通指導の充実や、危険箇所への看板設置などにより数値結果を高めたい。</p> <p>○危機管理意識の高揚については、避難訓練及び感染症対策は充実しているが、情報モラル教育について努力が必要である。家庭教育と連携した研修会を計画し、身体的危険性や法律的問題について学び、全教育活動において教育していく必要がある。</p> <p>○主体的な体力向上や健康意識の育成については、立腰指導は再考し意思疎通を図る必要がある。弁当の日を起点とした食育については、充実した活動となっている。部活動の休養日については、年間を通じて計画されており、安定している。</p>		
		危機管理意識の高揚	保護者・生徒のアンケート結果3以上	<ul style="list-style-type: none"> 予告なしの避難訓練の実施・防災教育の実施 SNS普及の対応と、情報モラル教育の充実 感染症対策等の充実 	3.0	4.0	3.0	3.3	2.5	3.7	3.4	3.2				
		主体的な体力向上や健康意識の育成	保護者・生徒・職員のアンケート結果3以上	<ul style="list-style-type: none"> 立腰指導 栄養教諭と連携した「弁当の日」の実施 部活動における休養日の推進 	/	4.0	3.0	3.5	3.0	3.2	3.1	3.1				
4	家庭・地域との連携	地域と共にある学校づくり	保護者・職員からの評価3以上	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページの内容充実 各種通信などによる情報提供の充実 	4.0	/	4.0	4.0	3.1	/	3.4	3.3	3	<p>○地域と共にある学校づくりについては、町教委や役場、文化会館等の協力を得て、構築しやすい環境にある。現状を鑑み、教育活動を徐々に再開しながら、自治公民館連絡協議会や民生委員児童委員協議会、青少年指導員連絡協議会等の関係団体との連携を再構築し、情報共有に努める。HPIによる情報発信、学校長による学校通信は大変充実している。</p> <p>○家庭・地域との信頼関係の構築については、参観日に加え、教育の日を起点としたオープンスクールの実施により、開かれた学校づくりに努めたい。また、1人1台端末の利用やWEBの活用により、学校教育を幅広く、効率的に発信していきたい。</p>		
		家庭・地域との信頼関係の構築	保護者・職員のアンケート結果3以上	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある学校参観日の計画と運営 「あんしんメール」の登録推進と内容充実 保護者等と学校の連絡体制の確立 	4.0	/	4.0	4.0	3.2	2.5	3.1	2.9				